

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
301	文学国語	3	3	総合学科	必修

履修条件、選択上の留意事項等
3年に履修

科目の目標
① 多様な見方,考え方,感じ方にふれ,物事を総合的に捉えることのできる,幅広い人間性,豊かな感性と判断力を育てる。 ② 自ら学び自ら考える意欲を喚起して,主体的に生きてゆく力をはぐくみ,国語の力を育成する。 ③ 伝え合う力を確かなものにするため,表現学習を重視し,理解学習と総合化した体系的な国語教育を目指す。 ④ 言語事項を総合的に学習し,国語に関する知識を深めることにより,国語に対する関心を高め,国際社会に生きる国語の力を獲得させる。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	1、言葉の特徴や使い方にに関して、「情景の豊かさや心情の機微を表す語句」や「文学的な文章における文体の特徴や表現の技法」を理解している。 2、我が国の言語文化に関して「人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用」を理解している。 3、文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。
② 思考・判断・表現	1、書くことにおいて、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫したり、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して読み手を引きつける独創的な文章になるよう工夫している。また、自由な発想や評論を参考にしたりして、小説や詩歌を創作するなどして批評し合ったりしている。 2、読むことにおいて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて内容を解釈したりしている。 3、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	上記①②の項目等について理解し解釈するとともに、粘り強い取り組みを行う中で自らの学習を調整しようとしている。
評価の方法	
定期テスト・レポート提出 等による	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	人間の姿と心 心情の表現に読みひたる	デューク	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすること。作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	○	○	
5	表現プラザⅠ みんなでつながりレー小説	グループでリレー形式の小説を書いて相互に感想を交換する	人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。グループで協力し合いリレー小説を完成させる。	○	○	○

5	中間試験					
	作品の挑戦 作家のストラテジーを読み解く	少年という名のメカ	文学的な文章における文体の特徴や表現の技法」を理解し用いること。語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて内容を解釈すること。	○		
6	文学の普遍性①	雨月物語	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。	○	○	
7	近代の創造 近代の文章に価値をみいだす	永訣の朝	文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて内容を解釈したりしている	○	○	
	期末試験					
9	文学の普遍性② 空間を超えて生きる翻訳文学の価値を見つける	ナガサキの郵便配達	かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 ・ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	○	○	
10	史実と虚構 歴史の語り方について考える	花山院の退位 「大鏡」を読む	・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 ・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。	○	○	
10	中間試験					
	作品の挑戦 作家のストラテジーを読み解く	バースデイガール	・ 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。 ・ 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて、内容を解釈すること。 ・ 作品の内容や形式に対する評価について、評論や解説を参考にしながら、論述したり討論したりする活動	○	○	
11					○	
12	文学の普遍性① 時代を超えて生きる古典文学を温める	文学から世界への見方を深める 「虫めづる姫君への観察眼」	・ 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。	○	○	
	期末試験					
1	文学の普遍性 空間を超えて生きる翻訳文学の価値を見つける	「星の王子様」	・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。	○	○	
2	想像と創造 文学の想像力を捉える	・ 現実と非現実の世界に遊ぶ 「月火水木金土日	と。 ・ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。	○	○	